

2010年8月23日 マツダ株式会社

理系ゴコロ探検隊員

呉工業高等専門学校5年 安田祥子

今回は、マツダ株式会社で技術者として働いておられる空久保奈未さんにインタビューしてきました！



○まずは空久保さんについて紹介します！

呉高専機械工学科卒業後、マツダ株式会社に入社。現在は「生産準備」という仕事をされています。

○空久保さんのお仕事って？

空久保さんのされている「生産準備」とは、工場での作業の動きをコンピュータで確認し、生産方式を考える仕事です。

狙いの品質・コスト・納期を満足する生産ラインを設計し、革新的な技術・システムを導入した生産ラインにするために人の動き、ロボットの動き、部品の組み付け順番、工場のレイアウトという工程を設計しています。そして、この設計した工程(実際の工場での作業の動き)をコンピュータ上で確認し、スムーズに生産できるようにするという、工場で作られる前にどのような順番で組み立てていくかを考えるお仕事です。

そして、より良い商品を、安定してより早く、より安くつくるにはどうするか、を考えます。

—答えはそのときその場所によって変わってきます

さまざまな条件の中から、最適な工程設計を行うのが「生産準備」の仕事です—

以下、インタビュー

○進路選択について

なぜ呉高専の機械工学科へ進学しようと思ったのですか？

—中学生のときからF1が好きで、たぶん珍しいと思うんですけど、私も当時は恥ずかしくて隠していました。F1の車が好きというよりはそのレースをみるのが好きだったんです。それでできれば車の会社に入りたいなと思って機械工学科を選択しました。呉高専を選んだのは、機械科のある学校で家から通えるのが県立の工業高校か高専しかなくて、高専は国立なのでいいかなと思って選びました。

何かひとつでも好きなものがあるというのは強いですね。

—ただ、中学生のときのF1が好きっていうのは、親しい友達には言えますけどおっぴらには言えずにいたんです。それから機械科に入って女の子が一人で、はじめはすごく人見知りをしていました。しかも機械科だからといってF1の話もほとんどしなかったです。そのなかで私F1好きなんだとは言えずに結局5年間親しい人以外には隠していました。でも、マツダに就職が決まってからは、「だって私、F1好きだから！」と大人になるにつれて堂々と言えるようになってきました。中学生の頃は人と違うのが恥ずかしくて言えなかったです。

F1 まだ好きですか？

—今も懲りずに好きです(笑)

○高専・中学のころについて

数学は得意でしたか？

—ほかと比べると数学のほうが得意だったとは思いますが。でも、本を読むのが好きだったので古典も得意だったし、高専でも国語のほうが点数はよかったです。

F1が好きで女子の少ない機械科に進んだ自分をほかの女子中学生と違うと思ったことはありますか？

—機械科は女子1人で、正直最初の1年は心が折れそうになりました。(笑)

普通の女子中学生と同じだと思います。ただ、何に興味があるかの違いだけだと思います。たしかに流行りものにはあまり興味はなかったですけど、周りの友達とは普通に遊んでいたし、とくに飛びぬけて浮いた存在ではなかったですよ。みんながアイドルを好きなように私はF1ドライバーが好きだったんです。

高専時代に力を入れていたことはなんですか？

—陸上部でマネージャーだったんですけど、合宿とか練習とかがあったので毎日外に出て日焼けしてやっていました。そのときは勉強より陸上部をがんばっていました。

陸上部でのことが就職活動に役立ったことはありますか？

—入社してから聞いたんですが、クラブ活動をがんばっている人をほしがる上司が結構多いみたいなので、就職活動ではすごく役に立ったと思います。私の上司にも運動部は根性があるという考えを持っている人がいて、私が陸上部だったから採用したとも言っていました。クラブを続けていることはポイントが高いみたいです。私も面接のときはほとんどクラブの話しか聞かれませんでした。30分のうち20分くらいクラブの話で、最後になって「ところでなんでマツダなの？」という感じで、そのときは「この会社落ちたな」って思いました(笑)

○仕事について

技術職で女性技術者の先輩はいますか？

—今働いている部署にいます。ただ、私の部署では技術職で結婚出産を経験された方がまだいないので不安なところもあるんですけど、そこは前例を作っていきたいなと思っています。休日出勤も残業もあるので今のままの勤務体系だと私の場合は出産や育児は難しいと思うのでそういう場合は出産や育児をしている間、部署が変わるという方法もあるのでそれもいいかなと思っています。

今は一人で身が軽いときなので技術を身につけたいと思って働いています。

今、職場には何人くらい女性がいますか？

—すごく少ないですね。1フロア100人くらい居て、その中に5人くらいですね。技術職で限定すると3人しかいないです。

海外で働いている女性はいますか？

—もちろんいます。自分から行きたいと言って行く人もいますが、転勤も性別は関係ないので海外で人材が必要な場合に選ばれたときは行かないといけません。私は半年前にタイに行ってもらえないかと上司に打診されていました。今回はほかの人が行くことになりました。

中国に何度か行っている同期の女性も日本とは勝手が違うから大変だけどやりがいもあると言っていました。英語ができることよりも海外の方とうまくコミュニケーションを取れるかというのが大事なようです。

英語はどのくらいの能力が必要なんですか？

—自己啓発はあります。英語を積極的に勉強したい人のためのスクールもありますし、会社の中でも勉強することもできます。推奨されているのは入社して4年目までにTOEICで500~600点くらい取ることです。一応規定があるのは500点以上ないと係長以上にはなれません。なので、偉くなりたい人はとにかく勉強しなさいということみたいです。私も英会話を学ぶために社内のプログラムに2回ほど自費で参加しました。

この会社に入って一番よかったことはなんですか？

—自分が携わった車が一般道を走っているのを見られることです。本当に感慨深いです。会社に入ってすぐ携わったのが、「CX-9」という海外の車だったんです。だから、自分の携わった車が走っているのを見る機会がなかったんですけど、その次に関わったのがデミオでそれが一般道を走っているのを見ると自分の子どものように愛しい気持ちになりますね。

仕事のなかで大変だと感じる時はありますか？

—ひとつの工場で最大4車種をつくることができるんですけど、工程設計は難しいですね。4車種それぞれの部品や工程が干渉してくるので奥の深い仕事だと思います。忙しいですが、工程がうまくいったときはとても嬉しいですね。

○マツダについて

マツダの社員がマツダの車を買うと安くなるんですか？

—社員価格でももちろん購入できますよ。どれくらい安くなるかは言えませんが。

車のことを知らなくてもマツダに入れますか？

—ぜんぜん知らなくても入れます。マツダに入った時点で“あの車とこの車のここが似ている”とか、“2000ccの車がこうなんだ”とかすごい詳しい人もいますが、はっきり言って私は入るまで車についての知識はなかったです。

でも、会社に入ってから、業務を通じて自然と知識が身につきました。ですからあまり心配しなくても良いと思います。

マツダのいろいろ…

勤務体系 フレックス勤務

仕事は1日8時間が基本ですが、自分で仕事時間を調整できる制度。

(明日は病院に行きたいから、6時間で帰ろう。その代わりに今日は10時間働こう、ということが出来る制度。)

有給休暇

1年で最大20日。お給料が支給されるけど、休んでも良い日。

(マツダは労働組合がしっかりしていて、有休取得促進を強力に進めています)

福利厚生 マツダフレックスベネフィット

ポイント方式のカフェテリア型福利厚生制度。

特別休暇 出産休暇・育児休暇

出産・育児のための特別休暇。

(出産休暇中は給料の2/3が支払われます。育児休暇中も手当てがあるそうです)

○最後に——

今の中学生に伝えたいことはありますか？

—私はそんなにまじめに学生をしてなかったのであんまり偉そうなことは言えないんですけど、理系文系関係なく、高校生や学生の間でどれだけ楽しめるかというのが大事だと思います。学生の間は学生にしかできないことがあると思うので、それがクラブ活動だったり、バイトだったり、友達と遊ぶことだったり、そういうのが大事だと思います。会社に入ってから働くことがもちろん大切です。遊ぶこともできないわけじゃないですけど、学生の頃のようにクラブ活動やアルバイトはできないし、クラスの友達と遊ぶこともなかなかできなくなるので、今しかできないことを今やっておいたほうがいいと思います。



高専生の私の感想

今回は5年前に卒業してマツダに就職された先輩のお話を聞くことができました。

学校のなかでも卒業して就職された先輩方の話を聞く機会があります。ですが、学校では授業の一環として行われていて100人ものなかで聞くには質問しにくい部分も多々あります。こうして自分たちから訪問して話を聞くというのは今までとは立場が違い、より積極的に参加できたと思いました。この企画では少数でお話を聞けるというのが一番のいいところだと思います。中学生や高校生は知らない大人の方を前にすこし緊張していたようでしたが、とても良いインタビューができました。

私、理系女子（高専生女子）としては、まだまだ男性の多い世界のなかで女性技術者がどんなふうに住しているのかを知ることができ、良かったと思います。私も女性技術者になるべく社会に出ていこうと思いました。

最後に空久保さん、マツダの社員の方々、関係者各位の皆様、ご協力ありがとうございました。